

農福連携 水耕レタス出荷

NPO法人ソーシャルハウス(高崎市)が藤岡市浄法寺に開所した農福連携施設「ソーシャルハウス藤岡」は、水耕栽培レタスの出荷を始めた。

滝沢啓理事長は「水耕栽培は福祉施設との相性が良い。2年がかりで増産したい」と意気込んでいる。

ソーシャルハウス藤岡

同NPOは、機械制御装置などを手掛ける成電工業(高崎市)の関連団体。同NPOによると、露地栽培は時季によって仕量が削減するほか、障害者への身体的負担も大きい。一方、水耕栽培は温度調節した工場年間を通して一定の生産ができるため、障害者の安定就労に適しているという。



水耕栽培レタスの出荷作業

滝沢理事長は「水耕栽培の野菜は雑菌が少なく、鮮度も長持ちする。露地栽培のレタスよりサイズは小さいが、可食部が多いので、コストパフォーマンスは悪くない」と品質にも自信をのぞかせている。

(寺島努)

地裁増は時季によって仕量が削減するほか、障害者への身体的負担も大きい。一方、水耕栽培は温度調節した工場年間を通して一定の生産ができるため、障害者の安定就労に適しているという。

オンラインで実印製作

映像見ながら職人と対話

北関東経済

【茨城新聞】印章・ゴム印製造販売のスタンプナメカワ(茨城県日立市、滑川裕社長)は、熟練職人とオンラインで対話しながら実印・会社印などのはんこをオンラインで製作するサービスを始めた。

サービスは、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を利用する。実物の材料を比較して見られるほか、職人が描いた自分の名前をはんこにしたイメージを確認できるため、従来のネット通販や電話注文より実物を想像しやすいのが特徴。

「下野新聞」栃木銀行(宇都宮市、黒本淳一)は、「即時口座決済サービス」に参加した。a u ペイのスマートフォンアプリで、現金を振り込む際の「即時口座決済サービス」に参加した。a u ペイのスマートフォンアプリで、現金を振り込む際の「即時口座決済サービス」に参加した。

スマホで預金を a u ペイに入金

栃木銀が新サービス

な場面では決意の証しとしてはんこを押し「脱はんと」と話す。脱はんこの流れで印章店経営者も増えているという。「これを機に一生涯のはんこを大事に考える人々が増えてほしい」と期待した。

「下野新聞」栃木銀行(宇都宮市、黒本淳一)は、「即時口座決済サービス」に参加した。a u ペイのスマートフォンアプリで、現金を振り込む際の「即時口座決済サービス」に参加した。

新会長に早川氏



早川茂氏

早川氏 庫会長が任期途中で退任し、後任に早川茂氏(72)が就任したと発表した。就任は7日付で、任期は来年5月の定時総会まで。

手指消毒器発売

サンデンRS

早川氏は1977年、川島林信用金庫理事に就任し、11年に任じた。コロナ禍で業者が大受けて、用金庫が々の経営向けた支援でいき、早川氏道を守りした。

イ利用者の新規口座開設などにつなげたい考え。栃銀営業統括部は「コロナでキャッシュレス決済が浸透する中で、銀行との関わりをつくる機会にもなる。クレジットカードがない人や、忙しくて銀行などで現金を下ろせない人は大きなメリットがある」としている。

神事に臨む吉田社長

(右から2人目)ら



吉田卓史社長が新築移転した高崎北メモリアルドホルの竣工式が10日、高崎市中泉町の同ホールで行われた。家族葬の広がりを踏まえ、会場を仕切ったほか、オンライン葬儀に対応するため、天

経営革